

みちしるべ

日本福音ルーテル教会
九州教区女性会

発行代表者 原 真理

編集者 樂 満 春 子

印刷所 ヤマダスピード製版

主題聖句

「そして、毎日ひたすら心一つにして神殿に参り、家ごとに集まってパンを裂き、喜びと真心をもって一緒に食事をし、神を賛美していたので、民衆全体から好意を寄せられた。こうして、主は救われる人々を日々仲間に加え一つにされたのである。」使徒言行録2章46-47節



「主が一つにされたのである」

室園教会 牧師 西川 晶子

(第19期教区女性会担当牧師)

先月、ご高齢とご病気で長期入院中の姉妹のお見舞いに、完成した「いいいのみぎわ」を持参した折、とても気に入ってくださったので、一冊持つておいていただくことにしました。そして先日、イースターのお祝いを持つて再び訪問したときのことです。

「先日いただいてから病室の壁にかけて毎日めくっています。それを声に出して読んでみると、神さまから元気をいただけるんです。」

長期入院によって、ふさぎこんでおられるときも少なくないその姉妹がとても明るく話してくださいました、それだけでも嬉しかったのですが、続きがありました。

「私がそうやって読んでいると、同室の人たちが『楽しそうね、なんばし

よつとですか』とのぞき込んでいかれるんです。」「なんか難しそうな勉強ばしよるね」と言われるけど『いいえ、元氣になれる神さまの言葉なんです』とお答えするんですよ」と、本当に嬉しそうに話してくださいましたのです。今年度の教区女性会の主題聖句、使徒言行録2章46〜47節をすぐに思い浮かべました。

使徒言行録は、イエス様が天へと上げられた後の弟子たちの宣教について語ります。そこでイエス様の姿はもう人の目には見えません。にもかかわらず、ここでの主語は「主」です。激しい迫害の時代の中で、喜びと真心をもって集まる弟子たちを通して、他ならぬ主が働かれたのだし、同じ主が今の私たちを通して働いて下さる、そう聖書は語るのです。

お知らせ

九州教区女性会修養会

講師:北村 恵子氏

2015年10月12日(月・祝)

時間:午前10時半～午後3時半

会場:日本福音ルーテル熊本教会

お問い合わせ:(096)352-1772

「いいいのみぎわ」によってこの姉妹に平安と笑顔とが与えられ、周りの方々との間に新しい関係が造られた。神さまのみことばの働きを、目の当たりにできたことを心から感謝します。この同じ神さまが、新しく任命された役員の方々を中心とする教区女性会と、属するおひとりおひとりを通して、必ず働いてくださると信じます。神さまが私たちを通して行ってくださいることを楽しみに、どうぞこれから、よろしくお願いいたします。

九州教区女性会 第19期役員

(2015年3月～2018年2月)



会長 原 真理
(久留米教会)

誰よりも小さな私が、ここにおります。神様、どうかお助け下さい。

そう祈って働きが始まりました。できることはそう多くはありません。皆様のお祈りとご意見が必要です。たくさんのお声を

聴かせていただきたくと願っております。

精一杯努めてまいります。

ご指導をよろしくお願いいたします。



副会長・書記 俵 恭子
(室園教会)

9年前に続き2度目になります。教区女性会の年齢層も9歳スライドして教会、家庭、社会の状況も大きく変化しています。でも時代が変わっても変わらない主の福音があるから大丈夫です。



連盟担当 杉本 範子
(熊本教会)

子ども達が育ち、「さあ自分のことをしよう」という私に、神様は「今少しお働きなさい」と教区女性会のお役を課しました。逃げようとする私を捉まえて放さない主のご意志には逆らえません。これからの3年、よろしくお願いいたします。



会計 佐藤 富美子
(室園教会)

のんびり屋で食べる事以外はすべてにスローな私です。主のお支えと皆様のご協力を信じて、一つずつ務めて行きたいと思ってるトラ年生まれの猫好き人間です。どうぞよろしく願います。



文書 樂満 春子
(甘木教会)

役員会では、諸教会の女性会の方のお話を聞いたり、共に讃美歌を歌うことで、エネルギーをいただいています。九州教区の女性会の活動をお伝えし、それぞれの女性会を祈りあう会報「みちしるべ」となるよう努力します。よろしく願います。

日本福音ルーテル教会女性会連盟

第23回連盟総・大会

国立オリンピック記念青少年総合センター

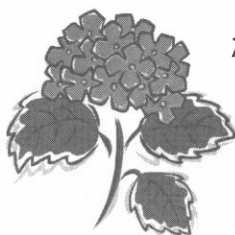
6月2日(火)から4日(木)まで3日間にわたって開かれた連盟総大会には、全国の女性会員や教職者、延べ三四一名が参加。3年間の活動報告や新役員選出などが行われました。九州教区からは五六名が参加しました。

主とともに 連盟総・大会報告

原 真理

この素晴らしい経験をさせてくださった主に、心からの感謝と賛美をささげます。

まず、大会の大塚野百合先生による講演では、ヘンリ・ナーウエンの著作を通して、主が本当に私を愛しておられると確信をもって信じているか、主にも自分にも隠している心のドアがないか、主の愛を抜きにして正当な思いとして人を裁いていないか、とても大切なことを讚美歌のオリジナルの歌詞を通して教え、たくさんの笑いと力いっぱい、の賛美で心に深く刻み込んで



くださいました。

聖霊様が豊かに働かれた3日間を通して感じたのは、離れたところに住んでいても、違う考えや思いを持っていても、主にあつて私たちは一つであるという事でした。

同じ主を信じ、同じ聖霊様に導かれ、主の愛を受けてともに主のために働く同労者としてよき交わりを保ち、御国が地上にもなりますように祈りつつ前進していきたいと切に願います。御心になつた祈りは必ず聞かれることを感謝いたします。



讚美歌を通して知る
主イエスの愛と恵み。



小倉教会

芳賀 明子

全国の主に連なる姉妹方とお会いして、少人数の女性会の会員の私は力強さと希望とを頂き感謝です。

大塚先生の講演の中で、全員で *Jesus loves me!* と主の愛の深さを改めて感じながら歌う事が出来て感激しました。議案に対しては熱い討議がなされました。私は「次世代信仰継承支援」と「サバ神学生支援」が承認された事が特に嬉しく思います。アメリカやフィンランド等から長年支援を受けている私共も、やっと他国への支援を続けて行う事が出来るようになりました。今回の教区女性会からの交通費援助には大変感謝しております。



長崎教会

廣瀬 美由紀

何より嬉しかったのは、現在休会中の長崎教会女性会を多くの人が気にかけてくれていたこと知ったこと。そして他教会の皆様への祈りに支えられていると肌で感じたこと。総会で実感したのは教会ごとの事情や様々な考えがあること。それでもイエス様の十字架を共に仰ぎ見ていれば分裂はないということ。礼拝や講演を通して与えられたのは、主イエスの溢れるほどの愛と恵みへの感謝と喜び。懇親会や食事の交わりで与えられたのは、主イエスにあつてつながっていることの確信。「福音を輝かせましょう」という講師の言葉を胸に長崎教会での歩みを続けていきたい。



愛餐会には神学生の皆様も参加。
良い交わりの時となりました。